

2009年9月14日

関係各位

会社名 高千穂交易株式会社
代表者名 代表取締役社長 戸田 秀雄
(証券コード 2676 東証第1部)
問合せ先 コーポレート統括室長 中居 康幸
電 話 03-3355-1111

大量窃盗(万引き)検知装置「TK-Multi Eye(TK-マルチアイ)」の発売について

～ カメラ映像の解析により瞬時に大量窃盗をキャッチ、悪質な犯罪を見逃さない ～

高千穂交易株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:戸田秀雄、証券コード:2676)は、ドラッグストアや書店、家電量販店などで多発している大量窃盗(万引き)を防止するため、大量窃盗(万引き)検知装置「TK-Multi Eye(TK-マルチアイ)」を開発、10月1日より販売を開始いたします。

近年、小売業では、従来の万引きとは異なり、見張り役や実行役、車両待機役などに分かれ、組織化して高額な商品を大量に持ち去る悪質な犯罪が数多く見られます。こうした犯罪の悪質化により、一回の被害額が数十万円に上るケースも見受けられ、小売業界においては、その対策が急務となっています。

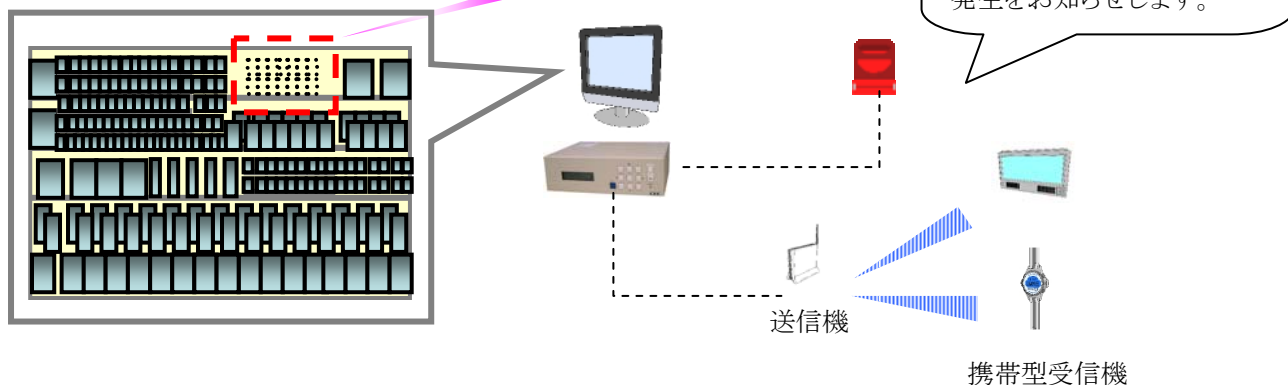
こうした中、高千穂交易では、長年培ってきた万引き防止システムの技術と運用ノウハウを活かし、カメラ映像の解析によって大量窃盗を検知するシステム「TK-Multi Eye」を開発しました。大量窃盗が発生した場合、無線受信機や外部音声アラームのほか、モニター画面へシグナルが発信されるため、小売店舗側では、即座に大量窃盗の発生を把握することができます。

この「TK-Multi Eye」本体には4台のカメラを接続することができ、1台のカメラで複数のエリア(棚)を同時に監視することが可能です。また、既に使用している防犯カメラやデジタルレコーダーにも接続できるため、低コストでの運用が可能となります。

高千穂交易では、この「TK-Multi Eye」を大量窃盗被害の多いドラッグストアや書店、家電量販店に販売するとともに、スーパーマーケットやアパレルショップなどへも販路を広げることで、初年度 300 台の販売を見込んでおります。

大量窃盗(万引き)検知装置
「TK-Multi Eye(TK-マルチアイ)」

【イメージ画像】



【TK-Multi Eye の主な特長】

- ・ カメラ映像の解析によって棚に陳列された商品の増減を計測し、大量窃盗(万引き)を検知する装置です。
- ・ 大量窃盗の発生をアラームやシグナルで従業員に知らせます。
- ・ 既に使用している防犯カメラシステムとの接続が可能です。
- ・ 1台のカメラで複数のエリア(棚)を同時に監視できます。
- ・ 店舗のほか、本部などの遠隔でも操作が可能です。
- ・ マウス(標準装備)で設定を行えるため、店内のレイアウト変更や商品の入替えが生じた場合でも、容易に設定変更を行うことができます。
- ・ タイマー機能が使えます。

※ 防犯製品の特性上、大量窃盗(万引き)を検知する詳細な解析・処理手順は公開することができませんので、予めご了承下さい。

【価格】

39万8千円～(設置工事費別)

【形状】

215mm(W)×66mm(H)×164mm(D)

【仕様】

映像入力:VBS 1.0Vp~p BNC コネクタ×4ch

映像出力:VBS 1.0Vp~p75Ω BNC コネクタ×1ch

消費電力:AC100V±10% 50Hz/60Hz(ACアダプタ使用) 約20W

【重量】

約3kg

(仕様は予告なく変更されることがあります)

<高千穂交易 セキュリティ事業部について>

高千穂交易のセキュリティ事業部は、1970年に日本で初めて商品監視システム(米国センソマチック社<現タ イコ ファイア&セキュリティ社>製)の輸入販売を開始しました。

商品の不正持出しを防ぐ各種ゲート・タグに加え、監視カメラシステム、来客カウンターなど豊富な製品ライン アップと長年の実績やノウハウで、業界や店舗形態に最適なシステムをトータルでご提案。また、専門スタッフに よるシステム導入後の運用サポートやアフターフォローなど付加価値の高いビジネスを展開し、商品監視システ ムでは国内市場シェア No.1(高千穂交易グループ 51.3% 富士経済 2009年調査)を誇っています。

【高千穂交易について】

高千穂交易は、1952年の創立以来、世界の最先端エレクトロニクス商品・技術・サービスのご紹介を通じて、 日本の市場に新たな価値を創造し続けてまいりました。「ビジネスセキュリティ」を事業コンセプトとして、ビジネス 環境に「安全・安心・快適」を提供し、お客さまの企業価値増大に努めています。

商品監視システム、監視カメラシステムなどのセキュリティプロダクトと、企業ネットワークシステム、入退室管理 システムなどのビジネスソリューションプロダクトを中核とするシステム機器事業、半導体・電子部品などの電子プ ロダクトと、スライドレール・ガススプリングをはじめとする各種産業機器プロダクトを中核とするデバイス事業、なら びに、付加価値の高いサポートサービスおよびソリューションサービスを提供するカスタマサービス事業を展開し ています。

■このニュースリリースに対するお問い合わせ

高千穂交易株式会社

コーポレート統括室 加藤まで

TEL : 03-3355-1189

E-mail : jkatou@takachiho-kk.co.jp